

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市金沢さくら保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：佐藤 千恵	定員（利用人数）：110名（107名）	
所在地：〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-1		
TEL：045-781-9318	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1949年8月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員：23名 非常勤職員：37名	
専門職員	保育士 44名 看護師（内准看護師） 0名 栄養士（内管理栄養士） 0名 調理員（内調理師） 4名（0名） 事務員 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室（0～2歳児室） 4室 幼児室（3～5歳児室） 3室 調理室 1室 事務室 1室 職員休憩室（更衣室） 1室 ホール 1室 トイレ 3室	建物の構造：RC造り 2階建て 建物延床面積： 785.91㎡ 園庭： 540.16㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

・すべての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信をもって生きていけるような保育をめざす。

【保育方針】

・いろいろな人との関わりの中で、安心感と信頼感をもって、今を生きる力と未来を創り出す力をはぐくむ。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

横浜市金沢さくら保育園は、京浜急行金沢文庫駅から徒歩7分のところにあり、近隣には、小学校、金沢区社会福祉協議会、地域ケアプラザがあります。1949年8月に開園し、周辺には川も流れており、子どもたちが近隣を散歩する際は、金沢海の公園や、金沢動物園、称名寺等、自然や文化財等にも恵まれた場所にあります。建物は鉄筋コンクリート2階建てで、1階は2～5歳児クラス、2階は0～1歳児クラスが使用しています。定員110名のところ107名が在籍しています。

### 【園の特徴】

子どもたちは、保育園での豊かな生活や遊び体験の中で、周囲の人々や友だちとのかかわりを心地よく感じたり、学んだりしながら成長しています。地域や保護者と共に、元気で生き生きと遊び、いのちや物を大切に、仲間とともに育ち合えるような環境作りと子どもの最善の利益を尊重する保育を行っています。

金沢区内の育児支援センター園およびネットワーク構築事業園として、金沢区の育児支援やネットワーク構築の役割を担い、地域との繋がりを大切にした保育園運営を行なっています。また、地域の親子が園庭やホールで過ごし、園児や保育士等と自然に交流しながら、気軽に子育ての相談にも応じられる保育園です。

今年度、プロジェクトチームを中心に各種マニュアルを見直し、園独自のマニュアルを作成しました。園内研修でも活用し職員がそれぞれ同じ対応が取れるように努めています。

### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月1日（契約日） ～ 2024年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回 （2018年度）

### ⑥ 総評

#### ◇特長

#### 1. 保育の質の向上に向けた取組

今年度からカリキュラム会議では、ランダムに作ったグループごとに、各クラスの子どもの写真を見ながら、子どもの姿や子どもとの関わり方について職員間で語り合う機会を設けています。例えば、5歳児クラスの写真を見て、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」と照らし合わせて考えるなど、ドキュメンテーションを用いた保育カンファレンスを実施しています。

園内研修では、「大人の声、ことば」「大人の動き、行為」等につき、「これって大丈夫？」と題して、全職員が「あるある」を出し合いました。職員からは、「つい大きな声を出してしまった」「忙しいとき子どもをせかしてしまった」等、数多くの「あるある」が出され、職員は、自らの保育を振り返り、改善策を考えました。

園では各種会議や研修の場等を通じて、職員同士が話し合いながら、保育の質の向上に向け、全職員で取り組んでいます。

#### 2. 子どもと保護者満足の向上に向けた取組

日々の保育の中で子どもの表情や言動、関わり方等から、子どもの満足や納得しているかの確認と把握に努めています。また、ドキュメンテーション作成や保育日誌の保育状況の記載の際に、子どもの主体的な活動や遊びの状況、子ども同士の関わり方や援助の仕方等について、1日の保育の振り返りを行なっています。

保護者に対して、行事ごとや年度末に利用者満足度を確認するためのアンケートを実施し、結果については掲示で公表しています。行事の際は保護者に「ひとこと感想」カードを配付し、アプリでフィードバックしています。

登園時の職員の数が少ないのではという保護者の意見を受け、登園時間帯の職員体制を見直し、登園人数に応じて職員の人数を適切に配置するようにしました。また、子どもたちの日常の保育の様子をもっと知りたいという保護者からの希望で、幼児クラスのクラスノートをドキュメンテーションとして可視化するなど、子どもの満足にも繋がるような保護者満足度の向上に取り組んでいます。

### 3. 子どもが自分でやろうとする気持ちに配慮した基本的な生活習慣の習得

職員は、基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを大切に強制せず、一人ひとりのペースや意志を尊重しながら身につけていけるように配慮しています。日常保育の中で絵本、紙芝居、パネルシアター、イラスト等で、箸の使い方や衣服の着脱、手洗い、排泄等、基本的な生活習慣に興味を持てるようにしています。時間がかかっても自分でやろうとする気持ちに配慮し、職員が先回りしすぎないように、見守りも大切にしながら援助をしています。

保護者とは連絡帳や送迎時の会話等で情報交換を行ない、生活状況や生活リズムを考慮し、基本的な生活習慣が身につくように援助しています。

#### ◇今後期待される点

##### 1. ヒヤリハットの積極的な収集と活用による子どもの安全の確保

ヒヤリハットについては、毎日の昼ミーティングで報告し、ミーティングノートへ記録しています。各クラスに「ヒヤリハット報告書」はあるものの、ミーティングノートへの記載が主となっており、ヒヤリハットの収集や活用が不十分な状況にあります。事例の収集を積極的に行ない、要因分析の実施や改善策・再発防止策を迅速に講じるためにも、より分かりやすいヒヤリハットの記録の仕方について検討することが望まれます。

##### 2. 園情報をわかりやすく公表する工夫

横浜市のホームページの「えんさがしサポート☆よこはま保育」やワムネットの「ここdeサーチ」に園の基本情報を記載し、利用希望者に必要な情報を提供しています。さらに、子どもの活動や遊びの様子を写真で示すなど、具体的にわかりやすく公表する工夫が期待されます。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

横浜市金沢さくら保育園は平成30年度から5年ぶりの受審となりました。受審に向け第三者評価プロジェクトを立ち上げました。プロジェクトメンバーが中心となり、評価項目の一つ一つを少人数のクラス、職種等セクション毎に話し合いを進め保育を振り返り、取組事項を出し合い、プロジェクトで集約していきました。また、マニュアルや手順書等は細かく見直しを進め、保育の質向上のための取組は何なのか、職員、スタッフの保育に対する思いや大切にしていることを話し合い、共有する機会となりました。様々な職種、職位やポジションの異なる職員全体で意見を出し合うことで、園としての課題に気づき、マニュアルの改訂を実施し、職員スタッフで保育を見つめ直すことができました。

前回受審時から評価票が変わり、保育園運営及び実践の新たな項目をひとつずつ丁寧に振り返ることで、深く学ぶ機会となりました。今回良かったところは更により良いものとなるよう努め、課題点については真摯に受けとめ、改善に繋げてまいります。保護者の皆様に分かりやすく工夫して保育及び運営を発信していきたいと考えます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。皆様のご意見を踏まえ、職員スタッフ一同で、安心、安全な保育園運営、そして子どもたちの主体性を大切にしたい保育を実践していきたいと思っております。また今回の第三者評価で、保育の聞き取りや観察を丁寧に行い評価に反映していただいた、ナルク神奈川福祉サービスの皆様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

横浜市金沢さくら保育園 佐藤千恵

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり